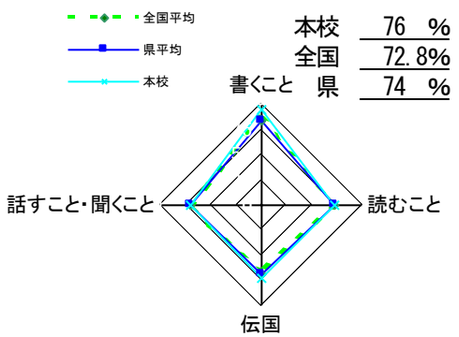
別紙４

指導方法等の改善計画について　〔国語科〕

呉市立　天応　中学校

全国学力・学習状況調査　本年度正答率



本校	76　%
全国	72.8%
県	74　%

重点課題

【課題１】　「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている弁当の魅力として適切な者を選択する問題の本校の平均正答率は 62.5%であった。（全国の平均正答率 61.5%）１つだけあっているものが５人，２つともあっていない人が４人いた。

【課題２】　話し合いの流れを踏まえ，「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く問題の本校の平均正答率は 62.5%であった。（全国の平均正答率 60.4%）３人が内容を読み取れていない解答をし，６人が内容は読み取っていたが条件②の具体的な提案まで書けていなかった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題１】　文章に表れている物の見方考え方について自分の考えをもつことに課題がある。文章に表れている物の見方考え方を正確に読み取る問題を数多く設定し，それに対する自分の考えをもつ授業を組み立てていきたい。

【課題２】　話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つことに課題がある。書かれている内容を読み取る問題だけでなく，条件にしたがって自分の考えを具体的に提案する授業を組み立てていきたい。

※　小中一貫した取組については，内容を正確に読み取り，自分の考えを書いたり話したりする活動を授業に位置付け，相手に正しく伝える表現力を育てる指導を継続して行っていく。

【課題１】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			２年期末テスト ３年期末テスト		３年学年末テスト	２年学年末テスト	
目標値			６５％ ７０％		７５％	７０％	
実施後数値			４０％ ６０％		７０％	６８％	

【課題２】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			２年期末テスト ３年期末テスト		３年学年末テスト	２年学年末テスト	
目標値			６５％ ７０％		７５％	７０％	
実施後数値			４５％ ７０％		７５％	令和２年４月	

来年度に向けて

学年末テストで実施しできなかった問題については休み明けに実施し、弱点を明らかにしてから補強をしていく。

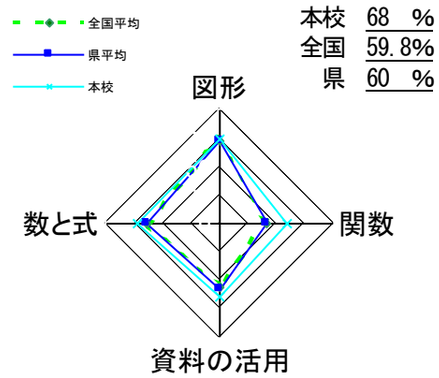
無回答生徒をなくすために、書くことに抵抗のある生徒は個別で指導をしていく。

別紙４

指導方法等の改善計画について　〔数学科〕

呉市立　天応　中学校

全国学力・学習状況調査　本年度正答率



本校	68　%
全国	59.8%
県	60　%

重点課題

【課題１】　△ABC を矢印の方向に△DEF まで平行移動したとき，移動の距離を求める問題の本校の平均正答率は 79.2%だった。（全国の平均正答率 83.6%）

【課題２】　図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ問題の本校の平均正答率は 50.0%だった。（全国の平均正答率 53.6%）

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題１】　平行移動や回転移動など比較し，共通点や相違点を見付けることで図形に対する理解を深める。また，平面図形だけでなく，空間図形でも共通点や相違点に注目することで理解を深める。

【課題２】　代表値の意味や求め方だけでなく，場合によってどの代表値を用いるべきか判断する力を付ける。また，身の回りの事象を扱うことで，代表値の有用性を高める。

※　小中一貫した取組については，９年間を見通した関連性や系統性を意識し，児童・生徒の思考力・表現力を高める指導のあり方について授業研究等で研修していく。

【課題１】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			２年期末テスト		３年学年末テスト	２年学年末テスト	
目標値			８０％		８５％	８５％	
実施後数値			５９％		７１％	５５％	

【課題２】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法					３年学年末テスト	２年学年末テスト	
目標値					６５％	６５％	
実施後数値					６７％	５０％	

来年度に向けて

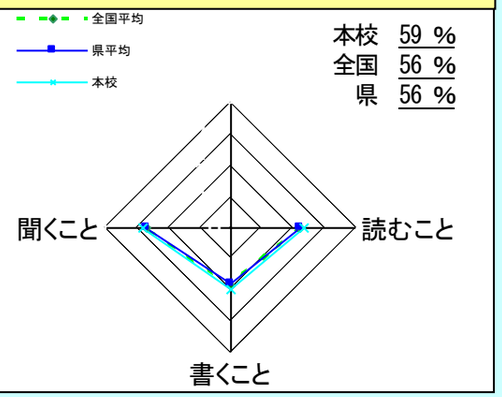
・基本的な知識を身に付けることを徹底する。
・各単元や領域の繋がりを意識して課題に取り組ませる。

別紙４

指導方法等の改善計画について　〔英語科〕

呉市立　天応　中学校

全国学力・学習状況調査　本年度正答率



本校　59 %
全国　56 %
県　56 %

重点課題

【課題１】　書かれた内容に対して，自分の考えを示すことができるよう，話の内容や書き手の意見などをとらえる問題の本校の平均正答率は 8.3%だった。（全国の平均正答率 10.9 %）話の内容や書き手の意見をとらえることができていなかったり，伝えたい内容の文に誤りがあったりした。

【課題２】　与えられたテーマについて考えを整理し，文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く問題の本校の平均正答率は 0%だった。（全国の平均正答率 1.8%）コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項の誤りがあったり，２５語以上書けていなかったりした。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題１】　まとまった英文を読む回数を増やして，短時間で内容をとらえる練習をし，自分の意見を英文で書く練習を行う。

【課題２】　ひとつのテーマについて文と文のつながりを考えながら，まとまりのある英文を書くことができるように英作文の練習時間を増やしていく。

※　小中一貫した取組については，英文をしっかり発音（音読）することと，書くことについて着実に多くの英語を書けるように指導していく。協働的な態度を育成できるように効果的なペア・グループ活動を活用する。

【課題１】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			２年期末テスト ３年期末テスト		３年学年末テスト	２年学年末テスト	
目標値			３０% ４０%		５０%	４０%	
実施後数値			５０% ４６%		４６%	３２%	

【課題２】	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
学年・方法			２年期末テスト ３年期末テスト		３年学年末テスト	２年学年末テスト	
目標値			３０% ４０%		５０%	４０%	
実施後数値			５０% ４６%		４６%	３２%	

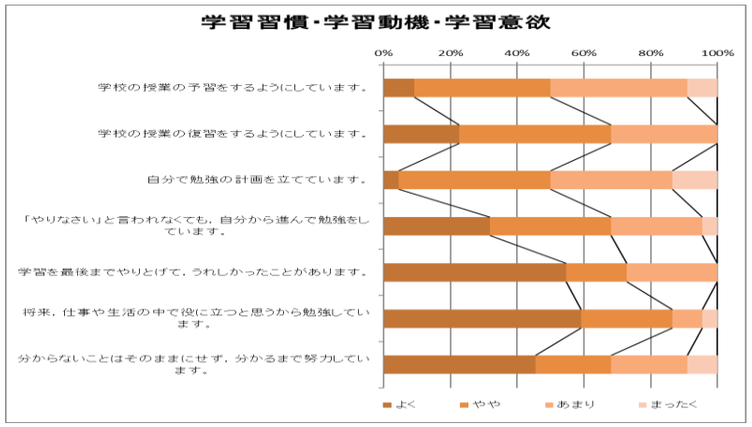
来年度に向けて

・まず，自分の意見をしっかり持てるようにした上で，それを適切な英文にしていく練習を積み重ねていきたい。
・長文をチャンクごとに前から訳す練習を続けていきたい。

別紙４

２　質問紙調査　（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）　（全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査）

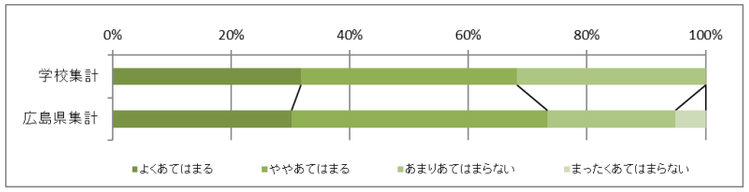
（１）生活・学習



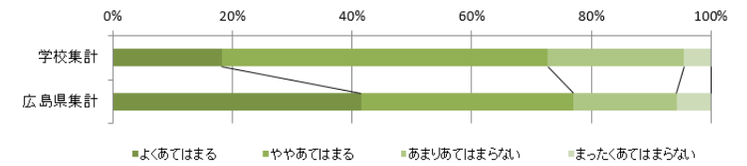
	生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
基礎・基本	自分で勉強の計画を立てています。（本校 50.0%，広島県 55.9%）	試験週間中を中心に，学習計画を立てさせるとともに，活用について指導をしていく。	2	70%	生徒アンケート	２月	９５％
全国	将来の夢や目標をもっていますか。（本校 70.8%，全国 70.5%）	今後の進路を考えるうえで，自分を振り返り，見つめ直し，将来のことにも繋げていくようにする。	3	75%	生徒アンケート	２月	８４％

（２）教科

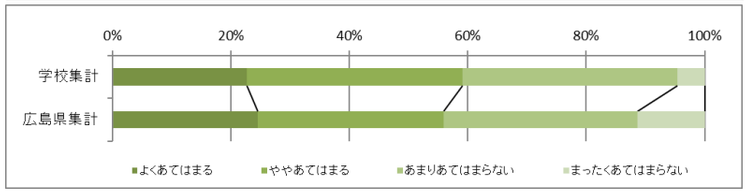
国語の授業では，伝えたいことの中心をはっきりさせ，組み立てを考えて文章を書いています。



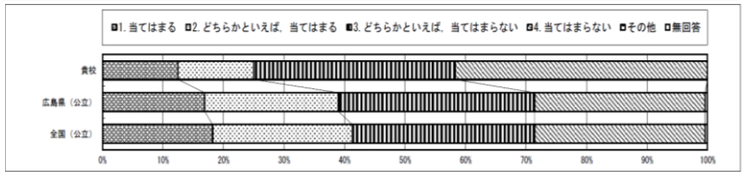
数学の授業では，問題を解くときに前に習ったことが使えないかいつも考えています。



理科の授業では，自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



英語の授業では，自分の考えや気持ち，事実などを英語で話しています。



		生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
国語	基礎・基本	伝えたいことの中心をはっきりさせ、組み立てを考えることを意識して文章を書いています。（本校 68.2%，広島県 73.3%）	伝えたいことの中心をはっきりさせ、組み立てを考えることを意識して文章を書く機会をつくる。	2	75%	ワークシート 生徒アンケート	２月	７３％
国語	全国	国語の授業で学習したことを，普段の生活の中で，話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか。（本校 70.8%，全国 71.6%）	国語の授業で学習したことを普段の生活に活かせる課題に取り組む。	3	75%	ワークシート 生徒アンケート	２月	７０％
数学	基礎・基本	問題を解くときに前に習ったことが使えないかいつも考えています。(本校 72.7%，広島県 77.0%)	既習事項と未習事項を関連させながら，授業の展開をする。分からないことが出たら，振り返る時間をとる。	2	80%	生徒アンケート	２月	９５％
数学	全国	数学の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか。（本校 83.3%，全国 78.8%）	社会との関わりがある問題を授業内で扱う。また，身の回りとの関連がある問題を扱う。	3	85%	生徒アンケート	２月	６７％
理科	基礎・基本	理科の授業では，自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。(本校 59.1%，広島県 55.9%)	考察の際には，考察する視点を明確にしたり，交流活動などを通したりして，自分の考えに自信をもたせ，説明や発表する機会を作る。	2	70%	生徒アンケート	３学期	臨時休業に伴い未実施
英語	基礎・基本	英語の授業では分からない単語や熟語，自分が使いたい単語や熟語は辞書を使って調べています。（本校 54.5%，広島県 66.1%）	自己表現の英作文に取り組むとき，辞書を使う機会を増やす。	2	80%	生徒アンケート	３月	５９％
英語	全国	あなたは将来，積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか。（本校 25%，全国 41.3%）	英語をコミュニケーションのツールとしてしっかり使っていく場面を増やす。	3	40%	生徒アンケート	２月	２５％